

# 特定健診を必ず受診しましょう

特定健康診査を受けたくなる川柳 大賞作品

健診に 誘い誘われ 皆な笑顔

鳥原 幸子 (邑久町)

川柳の優秀作品の展示

本紙1月号で「特定健康診査を受けたくなる川柳」を募集したところ、60作品と多数の応募をいただきました。優秀作品は次のとおりです。

【大賞】 健診に 誘い誘われ 皆な笑顔 鳥原 幸子 (邑久町)	【準大賞】 悩むより 受けて 自分の体知る 榮 和子 (邑久町)
健診を 受けて長寿の 瀬戸内市 宮宅比佐恵 (邑久町)	【特別賞】 手遅れになって泣くより市の健診 太田 末子 (邑久町)
先づ受けて後は何とかおまかせよ 稲谷 朝子 (牛窓町)	合言葉 特定健診 もう受けた 中田 敬一 (邑久町)
忘れずに 特定健診 定期便 松井 稔 (邑久町)	健康が 唯一の宝だ 健診だ 谷全 次郎 (長船町)
自己のため至福の知らせ来年も 谷口 正子 (牛窓町)	結果知り 笑顔で過ぐす 特定健診 川崎 貞江 (邑久町)
健診が 健康寿命を 引き延ばす 橋本まき江 (邑久町)	近くまでは 元気でやりたい 検診で 上山 均 (邑久町)
健診を 受けて明日の 夢を見る 石黒 道雄 (邑久町)	健診を愛する家族へプレゼント 柴田 佳美 (邑久町)

川柳の優秀作品

## 今年も特定健康診査を必ず受けましょう

特定健康診査(特定健診)は、平成20年度から生活習慣病予防を目的に、40歳から74歳までの人を対象に、各医療保険者において実施されています。特定健診では、腹囲測定や身体計測、検尿、採血、血圧測定、問診などを行います。

市では瀬戸内市国民健康保険(国保)に加入している40歳から74歳までの被保険者を対象に、特定健診を実施します。対象者には、5月末日までに受診券を送付しています。

貧血・尿酸・クレアチニン(腎機能)の検査も行います(料金は基本料金に含まれます)。

### ▽実施期間

6月2日(月)～8月30日(土)  
※公民館や地域の集会所などで実施する「集団健診」の実施期間は、6月10日(火)から7月29日(火)までです。

### ▽持参するもの

特定健康診査受診券、国民健康保険被保険者証、健診受診料(基本料金・集団健診1,300円 個別健診1,600円)、検尿(朝一番の尿)、  
昨年の特定健診の結果

## 肝炎ウイルス検査も実施

肝炎ウイルス検査は、肝炎の原因であるウイルスに感染しているかどうかを血液検査で調べるものです。たとえ、感染していても適切な健康管理・治療で肝炎から肝硬変や肝がんへの悪化を予防することが可能です。

市では、次のとおり肝炎ウイルス検査を実施します。この機会に検査を受けましょう。

▽対象者 平成26年度末年齢が40～74歳の人で、今までにこの検査を受けていない人

※「個別勧奨制度」として、平成26年度中に40・45・50・55・60・65・70歳になる人で、今までに検査を受けていない人には、検査を無料で受けられる受診券を5月中に送付しています。

### ▽実施期間

6～8月  
▽実施方法 集団検査(特定健診と同じ会場)または個別検査(市内医療機関)

### ▽検査料

・集団検査 600円  
・個別検査 1,100円(市の特定健診と同時実施)

## 75歳以上の後期高齢者医療被保険者の人へ

75歳以上の人は、既に内科疾患で治療中の場合を除き、生活習慣病の早期発見を目的とした「後期高齢者健康診査」を受診できます。対象者には、5月末日までに受診券を送付しています。貧血・尿酸・クレアチニン(腎機能)の検査も行います(料金は基本料金に含まれます)。

### ▽実施期間

6月2日(月)～8月30日(土)  
※公民館や地域の集会所などで実施する「集団健診」の実施期間は、6月10日(火)から7月29日(火)までです。

### ▽持参するもの

健康診査受診券、後期高齢者医療被保険者証、健診受診料(基本料金・集団健診600円 個別健診800円)、検尿(朝一番の尿)、  
昨年の健康診査の結果

## 生活習慣病のリスクが高い人が多い傾向にあります

健診の結果、生活習慣病のリスクが高いとされた人は、生活習慣病予防の取り組みを積極的にすすめる「特定保健指導」の対象者となります。

瀬戸内市における平成24年度の特定保健指導対象者の割合は、県内27市町村のうち5番目に多く、瀬戸内市は生活習慣病のリスクが高い人が多い傾向にあります。

## 特定健診未受診者対象のアンケート結果について

平成20年度から市が実施している特定健診の受診率は31・1%(平成24年度法定報告値)で、およそ3人に1人と低い状況が続いています。平成25年度に未受診者4,764名を対象に実施したアンケート(回答1,904名、回答率約40・0%)によると、特定健診を受けない理由については、1位「かかりつけ医があるから」2位「市以外の健診を受けたから」3位「受けるのを忘れていたから」でした。

特定健診では、気になる項目以外についても健康状態を確認することができまます。かかりつけ医がある人も受診しましょう。

また40～50歳代の人の受診しない理由については「受けやすい日時・場所でないから」「仕事を休めないから」が上位でした。

## 特定健診の専門窓口が市民課にできました

4月から、市民課で特定健診事業を行っています。

平成25年度までは、国保担当の市民課と保健師などが所属する健康づくり推進課で業務を分担して特定健診事業を進めてきました。

しかし、もともとの目的である『生活習慣病予防と医療費の適正化』を関連づけて、事務職と専門職が一緒に取り組むを行っていくために、4月からは市民課に専門職(保健師・栄養士)を配置しています。

受診に関する相談・健診の医療費に及ぼす効果の分析なども市民課で行い、サービス向上に向けての取り組みを進めています。

### 問申市民課

☎0869・24・7096

## 前立腺がん検診も実施

前立腺がんは、日本人に少ないとされてきましたが、近年、日本でも罹患患者数が急増しています。

前立腺がん検診は、血中のPSAといわれるタンパク質の量を血液検査で調べるものです。

市では、次のとおり前立腺がん検診を実施します。毎年受けるようにしましょう。

▽対象者 平成26年度末年齢が40歳以上の男性

※前立腺がん治療中の人は除く。

### ▽実施期間

6～8月  
▽実施方法 集団検診(特定健診と同じ会場)または個別検診(市内医療機関)

### ▽受診料

600円  
※75歳以上の人は無料です。

### ▽持参するもの

健康保険証  
問健康づくり推進課  
☎0869・26・5961